

関門海峡花火大会

8月13日 2コース

門司区 西海岸

夜開催される花火大会へ向け、猛暑の中、午前から120名もの青少年ボランティアが力を合わせ、会場設営や受付などの運営補助をがんばりました。



○ 今回のボランティア活動に参加してみて、働くことのやりがいを感じることができたので、良かったです。また、普段関わることがほとんどないような外国人の方々と英語を使って話すなど、貴重な経験もできたのも良かったです。その際、アジア系に見える方々とも英語を使えばコミュニケーションを取ることができて、改めて英語は世界共通語であり、英語が話せるということの重要性を感じたので、これから、より勉強を頑張りたいと思いました。また、最初は自分から声を出したり動けなかったりしたけれど、最後の方は自分から積極的に動けたり、周りの人と協力して仕事を行えるようになったりと、成長も感じることができて良かったです。活動を通して、積極的に行動することでより多くのことを学べるということに気付いたので、これからは、積極的に様々なことに取り組みたいです。 【小倉高校1年】

○ 前回は参加したが、今回はよりスムーズに他の参加者と協力して作業することができた。私は人に話しかけることが苦手なのだが、少しでも自分から質問・行動しようと心がけることができて良かったと感じる。これからは(特に社会に出ると)さらにたくさんの方々と関わるようになっていくので、今回の経験を活かし、問題点や解決策を見つけ、より自分から積極的に動けるようになりたい。 【小倉東高校2年】

○ 今回初めてボランティアに参加して、私達が毎年楽しみにしているお祭りは、多くの方々の協力によって成り立っているのだと感じた。私が行った仕事は、主に会場準備で、机に番号のシールを貼ったり、椅子を拭く作業を行ったりした。日中は、とても暑くて大変だったけれど、この関門海峡花火大会に関わることができて嬉しかった。私達、高校生ボランティアの人以外にも多くの企業などの大人の方々がいて、地域のために、暑い中、活動している姿を見て、私も将来そのような大人になりたいと思った。このボランティアの活動後、関門海峡花火大会の花火を見て、多くの方々の努力によって成功できたのだと改めて感じた。普段なかなかできない経験を、この夏休みでできて本当に良かった。 【戸畑高校2年】

○ 今回、初めてボランティア活動に参加して、私が思っていたよりもとても楽しくて良い経験ができました。ボランティアは「面倒くさいな。」「嫌だな。」と思っていましたが、ボランティアに実際に参加して、リストバンドを着けられない子どもや両手が荷物でふさがっていて着けられない人がいたら、率先して声掛けをして「ありがとう。」と言われたのが一番嬉しかったです。中でも一番印象に残っているのが、席の案内をした時に、道を間違えて遠回りした時に「ごめんなさい。」と家族の方に謝ったら「いいよ。気にせんで。楽しかった。」と言われた時は、丁寧に案内して良かったなど心の中で思いました。高校生の内に1回でもボランティアには参加してみたいと思っていたので、参加できて本当にうれしかったです。そして、人と触れ合って人見知りがなくなったかなと思います。また機会があれば参加しようと思います。

【高陵高校3年】

水かけまつり

8月24日～25日の2日間 2コース

門司区 門司港親水公園

水かけまつりの由来は、タイの旧正月の行事で、仏像や仏塔、さらに家族が年長者などに水をかけてお清めすることに由来しています。ボランティアは、門司港レトロ中央広場に設営された臨時プールで子どもたちと一緒に遊んで、暑い夏の思い出作りの手助けをしました。



○ 今までイベントに参加する側しか体験してこなかったのが、今回のボランティアは、そのイベントの裏方を知ることができた。何か大きなイベントをするには、しっかりとした準備があるのは当たり前なのだが、今回ボランティアに参加してみて、その準備がどれくらい大変なのか実感した。それでも私達は、会場運営の少ししか手伝っていないので、主催の方々はもっと大変なのだと考えると、本当に尊敬する。自分が関わったイベントで、子ども達が楽しそうにしている様子を見られてうれしかった。とても良い経験になったので、また挑戦したい。 【戸畑高校1年】

○ ボランティア体験を通して緊張と不安がありましたが、他校の人達と関わりながらスタッフの方々のサポートのおかげで貴重な時間を過ごすことができました。仕事は、主に子ども達のスライダープールの声掛けや誘導、プールの中にいる子どもの見守りをしました。大きなケガも無く、仕事も分担して効率よく行えたので良かったです。 【八幡南高校1年】

○ 今回のボランティアは、子どもと関わるボランティアで、子ども達が怪我をしないようにしっかりと注意して見ました。子ども達とプールで一緒に遊んでいるうちに、打ち解けてきて、「お姉ちゃん。」と声をかけてくれるのがとても嬉しかったです。朝から夕方までプールに入り、とても体力的にきつかったですが、「お姉ちゃんのおかげで楽しかった。また来年も来るね。」と男の子が帰り際に言ってくれて、ボランティアをして良かったと思いました。 【鞍手高校2年】

○ 私は、水かけまつりに参加し子ども達の笑顔で遊ぶ姿に癒され、楽しみながらボランティア活動ができました。ボランティア活動に参加する勇気がなくて不安ではありましたが、すんなりと入り込めスタッフの方々も親切に教えて頂いたおかげで、最後までしっかりとお手伝いできたと感じています。貴重な経験ができたことを忘れずに、今後の自分の目標に向かい、しっかりと前に進める力を養えた事を感謝しながら頑張っていこうと思います。 【東筑紫学園高校3年】

○ 将来保育士になりたいと思っていて、このボランティア活動に応募しました。幼稚園児から小学生の子ども達と触れ合うことができ、とても楽しく良い経験となりました。子ども達の楽しそうな表情を見ることができたり、一緒に楽しむことができたりしました。ボランティア活動ではあるけれど、それを忘れてしまうほど楽しむことができました。係の方やボランティアの人がみんな優しく、とても良かったです。 【北九州高校3年】

○ 私は、水かけまつりのボランティア体験活動に行き、子ども達と触れ合う楽しさと同時にみんなが安全に参加できるように行う大変さを学ぶことができました。普段、子どもと触れ合うことが少ないので、どう接すればいいのか戸惑う場面もありましたが、周りのメンバーの助けもあり、たくさんの経験と知識を身に付けることができました。 【敬愛高校3年】